NTT DATA
Trusted Global Innovator

注目されているセキュリティ事故・事件に関する情報 ＜2019年6月版 (第29号)＞(選り抜き版)

2019年6月25日
ＮＴＴデータ先端技術株式会社
セキュリティ事業部

今回のサマリー

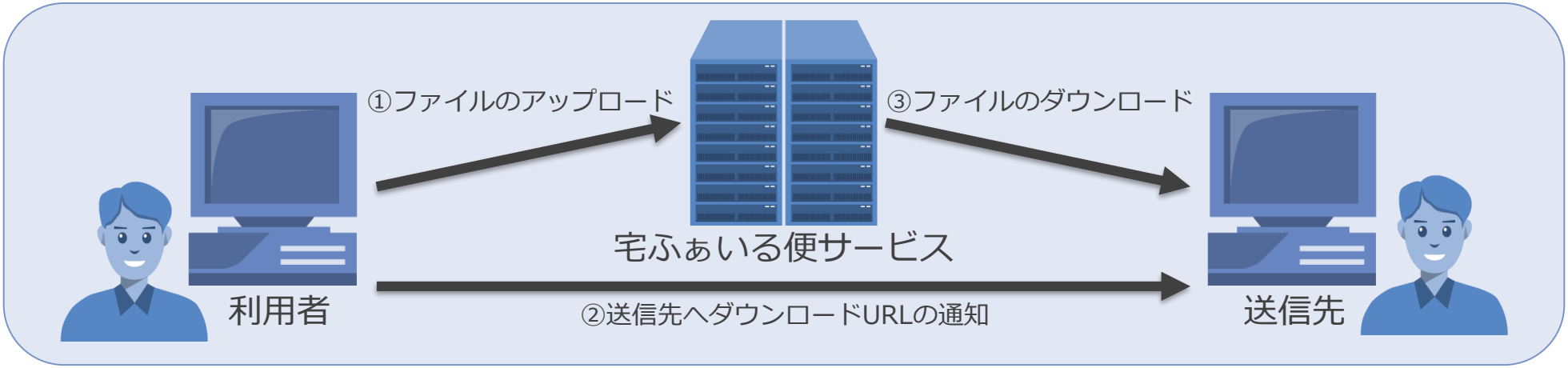
宅ふぁいる便の情報漏えいとその対策
ファイル転送サービス「宅ふぁいる便」に使用しているサーバが不正アクセスを受け、約480万件の個人情報が漏えいしました。ここではこの事件の影響と対策について解説します。

宅ふぁいる便の情報漏えいとその対策

1. 宅ふぁいる便の情報漏えいの概要 (1/3)

ファイル転送サービス「宅ふぁいる便」に使用している一部サーバの脆弱性を攻撃され不正アクセスが行われた結果、約480万件の個人情報が漏えいしました。

■「宅ふぁいる便」とは
- 1999年6月より一般向けに開始したファイル転送サービス
- 1年あたり約7,000万件の利用が行われている
- 2016年時点の掲載情報では脆弱性診断を外部の審査機関を通じて定期的に実施していた
- 2019年現在、無料会員約330万人、有料会員約2万人が利用



1. 宅ふぁいる便の情報漏えいの概要 (2/3)

■顧客情報の漏えい

1.漏えい件数：481万5,399件

①ビジネスプラス会員 (有料会員)	2万2,569件
②プレミアム会員 (無料会員)	475万329件
③退会者	4万2,501件
合計	481万5,399件

2.漏えい内容

生パスワードが漏えい!!

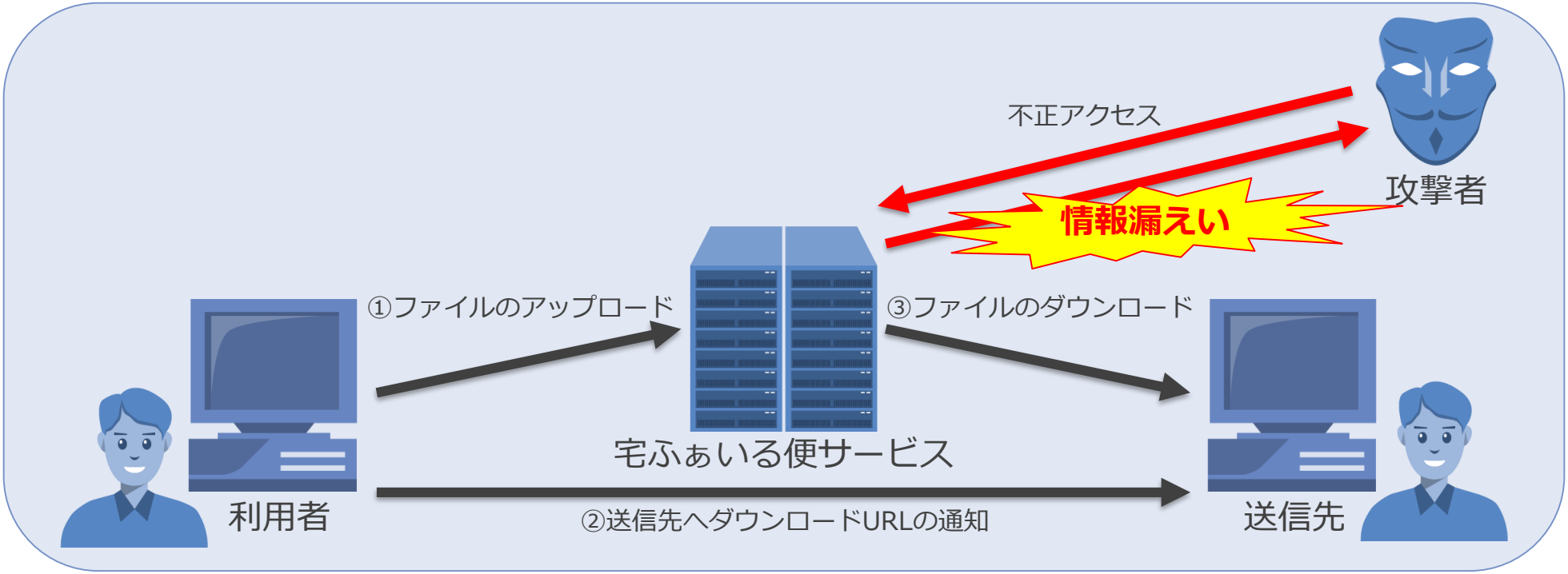
氏名 (ふりがな)	居住地の都道府県名
ログイン用メールアドレス	メールアドレス2、メールアドレス3
ログインパスワード	居住地の郵便番号
生年月日	勤務先の都道府県名
性別	勤務先の郵便番号
職業・業種・職種 (選択肢の番号)	配偶者、子供 (選択肢の番号)

■転送されたファイルの漏えい

流出は確認されていませんが、漏えいした情報を使ってログインしファイル取得が可能です。

1. 宅ふぁいる便の情報漏えいの概要 (3/3)

■「宅ふぁいる便」への不正アクセスの原因
　サービスのセキュリティ対策に継続的に取り組んでいましたが、一部サーバの脆弱性を攻撃され、不正アクセスが行われました。また、不正アクセスは海外から行われていた可能性が高いと発表しています。
　※ セキュリティ対策上、類似の被害を防止という名目で詳細な手口を開示しない方針のため詳細は不明です。



2. タイムライン (1/2)

日時	概要
2019/01/22(火) 09:38	不審なファイル検知と内部調査を開始
2019/01/22(火) 11:00	システムの管理を委託しているパートナー企業への調査を開始
2019/01/22(火) 19:45	攻撃元IPからの通信を遮断
2019/01/23(水) 10:50	宅ふぁいる便のサービスを停止
2019/01/23(水) 14:44	外部セキュリティ専門事業者協力による調査を開始
2019/01/24(木) 20:10	宅ふぁいる便のWebサイトおよびホームページに「宅ふぁいる便サービスの一時停止のお知らせとお詫び」を掲載
2019/01/25(金) 15:30	顧客情報が外部に持ち出されたことが判明
2019/01/25(金) 19:00	プレスリリース第1報をホームページに掲載、記者会見を実施
2019/01/26(土) 02:50	プレスリリース第2報をホームページに掲載
2019/01/26(土) 03:22	すべての顧客へ不正アクセスによる情報漏えいのお詫びとパスワード変更などの依頼メールを送付
2019/01/26(土) 09:00	電話およびメールによる顧客からの問い合せ受付を開始
2019/01/28(月) 13:00	プレスリリース第3報をホームページに掲載
2019/01/28(月) 15:58	すべての顧客へ情報漏えいの状況報告とパスワード変更などの依頼メールを再送付
2019/01/29(火) 18:30	ビジネスプラス会員様へ1月以降の利用料の請求停止のお知らせメールを送付
2019/03/14(木) 15:00	プレスリリース第4報をホームページに掲載、記者会見を実施
2019/04/08(月)	「「宅ふぁいる便Web特設サイト」開設のご案内」をホームページに掲載

2. タイムライン (2/2)

■「宅ふぁいる便」の問題点
「宅ふぁいる便」は既に開発が終了しており、ハッシュ化されていない生パスワードが漏えいしたことで、大きな波紋を呼びました。

■「宅ふぁいる便」が発表した今後の対応方針
- サイバー攻撃に対する対策と監視の強化に加えて、今後の第三者によるセキュリティ監査結果を踏まえた再発防止策に取り組む
- 社内横断的にこの再発防止策を早期に実行するために、「セキュリティ強化対策部」を設置する
- 安全性、利便性の向上のためのシステム再構築が必要であることから、サービスは当面休止する

■「宅ふぁいる便」以外のファイル転送サービスの対応状況
「宅ふぁいる便」での情報漏えい以降、他のファイル転送サービスはホームページ等で情報セキュリティ対策をしっかり行っていることをアピールするサービスが増加しており、今回の事件を機にファイル転送サービスのセキュリティ対策は強化されていくことが予想されます。

3. 影響と対策 (1/2)

『サービス利用者』は以下のような影響と対策があります。

「宅ふぁいる便」からの漏えい情報はハッシュ化されていません。
他のウェブサービスで同一のユーザID、パスワードを利用している場合は、不正ログインが行われる可能性があるため、パスワードの変更をする必要があります。

⇒
- 情報漏えい事件は今後も繰り返されることが想定されますので、『ユーザID、パスワードの使いまわしをしない』ことが重要

「宅ふぁいる便」は執筆時点でもサービス再開できていないため、サービスを利用したい場合は別のサービスを利用する必要があります。

⇒
- サービスを利用する場合は、利用前に『サービス仕様や制限事項をよく確認し、リスクを把握した上で利用する』ことが重要

「宅ふぁいる便」の退会申し込みができる特設サイトを開設しているため、今後利用する予定がなければ退会しておくことをお勧めします。

⇒
- 利用しているサービスの棚卸を定期的に行い、今後『利用する予定のないサービスは退会や停止する』ことを推奨

3. 影響と対策 (2/2)

『サービス提供者』は以下のような影響と対策があります。

今回の事件のように攻撃者は常に脆弱なウェブサービスを探しています。

⇒
- ウェブサービスを提供する際には、IPAの「安全なウェブサイトの作り方」などを参照し、設計当初から『セキュリティの観点を盛り込んでおく』ことが重要
- 既に提供中のサービスの場合は、IPAのチェックリストなどを参照し、サービスの『セキュリティ対策の現状を把握しておく』ことを推奨

「宅ふぁいる便」は開発も止まっており、ハッシュ化されていない生パスワードが漏えいしたことで、大きな波紋を呼びました。

⇒
- 万が一の情報漏洩に備えて、サービス提供に『不必要な情報は可能な限り保持しない』ことが重要
- サービスを提供している限りは『適切な維持管理をする』、サービスの維持管理ができなくなった場合には『速やかにサービスを終了することができるようなルール作りをしておく』ことを推奨

4. まとめ

本記事では、ファイル転送サービス「宅ふぁいる便」の約480万件の個人情報漏えいおよび、この事件の影響と対策について解説しました。
「宅ふぁいる便」は開発も止まっており、ハッシュ化されていない生パスワードが漏えいしたことで、大きな波紋を呼びました。

サービス利用者は、『ユーザID、パスワードの使いまわしをしない』、『サービス仕様や制限事項をよく確認し、リスクを把握した上で利用する』ことが重要です。
また、『利用する予定のないサービスは退会や停止する』ことをお勧めします。

サービス提供者は、設計当初から『セキュリティの観点を盛り込んでおく』、サービス提供に『不必要な情報は可能な限り保持しない』ことが重要です。
また、サービスの『セキュリティ対策の現状を把握しておく』、サービスを提供している限りは『適切な維持管理をする』、サービスの維持管理ができなくなった場合には『速やかにサービスを終了することができるようなルール作りをしておく』ことをお勧めします。

5. 参考URL

- 「宅ふぁいる便」４８０万件の個人情報流出　海外から不正接続 - 産経ニュース
  https://www.sankei.com/economy/news/190126/ecn1901260002-n1.html
- 「宅ふぁいる便」ご利用のお客さま情報の漏洩について
  https://www.filesend.to
- 「宅ふぁいる便」サービスにおける不正アクセスについて　～お客さま情報の漏洩について（お詫びとご報告）～
  https://www.filesend.to/news20190314.html
- 「宅ふぁいる便Web特設サイト」開設のご案内
  https://www.filesend.to/news20190408.html
- 「宅ふぁいる便」で情報流出＝４８０万件、不正アクセス：時事ドットコム
  https://www.jiji.com/jc/article?k=2019012501370&g=eco
- 「宅ふぁいる便」当面休止　顧客情報漏えいで「システム再構築が必要」 - ITmedia NEWS
  https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1903/15/news073.html
- 481万件の個人情報が漏えいした「宅ふぁいる便」、パスワードの確認や退会申し込みができる特設サイトを開設 - INTERNET Watch
  https://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/1179000.html
- なぜ、宅ふぁいる便は「暗号化」していなかったのか - ITmedia NEWS
  https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1902/22/news027.html
- なぜ“情報漏えい”は繰り返されるのか　宅ふぁいる便、Peing事件が教えてくれたこと - ITmedia NEWS
  https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1902/18/news028.html
- 宅ふぁいる便 不正アクセスによる情報漏えいについてまとめてみた - piyolog
  https://piyolog.hatenadiary.jp/entry/20190125/1548436943
- 安全なウェブサイトの作り方：IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
  https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html

NTT DATA

Trusted Global Innovator